

開講年度・学期	2017 年度・通年	授業形態	演習
科目名	専門演習（行政学）	科目ナンバー	JASEM3303
英語表記	Seminar on Public Administration	担当教員	手塚 洋輔
単位数	4		
<b>科目の主題</b>			
新しい制度のつくりかた			
<b>授業の到達目標</b>			
①政策形成過程の検討を通じて、行政活動を多面的に理解できるようになる。			
②報告準備を通じて、文献調査・資料調査を駆使できるようになる。			
③受講者間で積極的な意見交換を行い、建設的な議論に貢献できるようになる。			
<b>授業内容・授業計画</b>			
<p>新しい政策や制度を導入する場合、それが抜本的であればあるほど、利害関係が錯綜するため、関係者の合意を得るのに困難を伴う。それゆえ、政策課題が浮上してから、法律となり、それが運用されるまでには、長い時間がかかるのみならず、いくつものハードルを乗り越えていく必要がある。</p> <p>こうした大規模な制度構築の代表例が、1997年に法律が制定され、2000年より施行されている介護保険制度である。最近になって、この政策過程に参画した当事者たちの手により、政策過程を詳細に振り返る書籍が出版されたこともあり、行政・政策研究にとって格好の素材となっている。</p> <p>そこでこの演習では、介護保険制度の制定過程を取り上げて、制度をつくりあげていくプロセスを追体験していくことを目的とする。</p> <p>前期から後期の前半にかけて、下記書籍を手がかりに、政策過程の理解に努める。具体的な進め方は人数によるが、一定の人数が集まれば担当者を決めて報告してもらう形式をとることになる。それと並行して、夏休み以降、各自が、広く行政に関わるテーマを選び研究報告とゼミ論文の執筆を行う。</p>			
<b>事前・事後学習の内容</b>			
毎回の事前準備とゼミでの積極的な参加が求められる。			
<b>評価方法</b>			
授業の参加状況・報告内容等を総合的に評価する。			
<b>受講生へのコメント</b>			
本演習の中核は各自が行う事例研究と論文執筆であり、それを相互に高め合う建設的な議論の場を作り上げることにある。3回生のみならず、4回生の参加も大いに歓迎する。さらに、他大学との合同ゼミの機会も可能であれば設けたい。			
<b>教材</b>			
介護保険制度史研究会編『介護保険制度史：基本構想から法施行まで』社会保険研究所，2016年（コピーを配付する）。後期の事例研究では、さらに各種行政資料のほか、新聞記事や国会議事録なども縦横無尽に活用する。			
<b>その他</b>			
<b>履修可能最低年次</b>			
3年次生以上			